

建築設計製図|第二課題「まちの陶板ミュージアム」

2010/11/15 出題:松本直司 夏目欣昇

1. 課題の概要

次の項目に配慮し、鶴舞公園において、地域住民の交流に資するミュージアムを設計してください。

- 1) 陶板作品(平面系の陶芸作品)を展示・収蔵する。
- 2) コレクションおよび企画をいかす空間を提供する。
- 3) 敷地にふさわしいランドスケープを形成する。

まずは、敷地の周辺環境および現代日本の美術館が抱える課題について調査しましょう。

そして、そこから得た知見をもとにプログラムを提案してください。

展示作品と空間との関係、および建築と地域との関係について、熟慮された建築を求めます。

あなたの発想を建築にまで育てること、すなわち、設計力を養うことがこの課題の目標です。

2. 設計条件

【敷地】

鶴舞公園(名古屋市昭和区)の所定敷地に新築する。形状等は別図を参照。

地盤は良好、インフラは完備。現在ある建物は撤去する。敷地の高低差は実測により設定すること。

【構造、階数、延べ面積】

鉄筋コンクリート造を主とする。地上2階建て。必要に応じて、地上3階・地下1階を設けてもよい。

延べ面積は、1,200 m²程度とする。

【人員構成等】

館長1名、学芸員2名、事務員3名、ボランティアスタッフ数名。

【要求室等】

室内

所要室例

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 1) 展示部門(約25%) | : 常設展示室、企画展示室、レファレンス、休憩スペース |
| 2) 研究・収蔵部門(約15%) | : 学芸員室、研究室、収蔵庫(展示機能を持たせてもよい)、燻蒸室、荷解室 |
| 3) 普及部門(約20%) | : ワークショップスペース、ミュージアムショップ、カフェ |
| 4) 管理部門(約10%) | : 事務室、館長室、会議室、管理諸室 |
| 5) 共用部門(約25%) | : ロビー、受付、通路、階段、トイレ、倉庫 |
| 6) 機械設備部門(約5%) | : 空調機械室、電気室、衛生設備室 など |

屋外

- 1) 屋外展示スペース: 150m²以上。
- 2) 駐車スペース: 4台分程度(身障者対応含む)。駐輪スペース: 10台分程度。
- 3) その他: 搬出入スペース、ゴミ置き場、緑地など。

補足

建築可能な建物とすること(建築関連法令を大きく逸脱しなければよい)。あらゆる人が鑑賞できるようにデザインすること。上記所要諸室等の条件は、施設上問題のない範囲で改変してもよい。

3. 要求図書等

【エスキスチェック】

提出物

エスキス図・説明文(A3サイズ程度の用紙。枚数・表現方法は自由)。

要求内容

「4. 日程」の各項を参照。

【中間発表】

提出物

発表データ(パワーポイント形式)。

要求内容

- 1) 設計趣旨(コンセプト)
- 2) 敷地環境計画
- 3) 施設機能計画
- 4) 展示計画

発表方法

パワーポイント使用。発表：2分・質疑：1分。

【最終提出・講評】

提出物

設計図(A1サイズ用紙。枚数・表現方法は自由)。設計図データ(PDF形式)。

要求内容

- 1) 設計趣旨およびタイトル(テーマ): 400～600文字で設計意図を簡潔に述べること。
- 2) 施設機能図: 施設内容を分かりやすく図式化すること。
- 3) 平面図(1/200)各階:
展示品、家具等、開口部、および寸法を記入。外構を表現すること(隣地・道路まで表現)。
- 4) 配置図(1/400)1面: 周辺環境、前面道路、およびアプローチ経路を示すこと。
- 5) 立面図(1/200)2面: 周辺環境まで表現すること。
- 6) 断面図(1/200)1面:
展示品、家具等、開口部、および寸法を記入。立体的構成がよく分かる箇所を切断すること。
- 7) 矩計図(1/50)1面: 常設展示室を切断すること。
- 8) 模型写真 1枚以上: 透視図も可とする。
- 9) 補足:
学生番号・氏名・図面番号は、紙面オモテの右下に記入。方位、縮尺、断面指示線、寸法線など、基本的な設計記号を忘れずに記入すること。表現上やむを得ない場合、縮尺を変更してもよいが、見にくい場合は減点対象とする。模型の表現方法は自由。学生番号・氏名を記入すること。

講評方法

提出物を用いて発表。発表：2分・コメント：1分。

4. 日程

- 11/15(火) 課題説明 1722教室
11/17(木) レクチャー(松本先生) 2421教室(予定)～工大祭前日～
11/22(火) エスキスチェック1 デザインスタジオ 敷地調査、美術館調査。施設・展示の構想
11/24(木) エスキスチェック2 デザインスタジオ 敷地環境計画・施設機能計画・展示計画
11/29(火)
12/01(木) 【中間発表】 1722教室
12/06(火)
12/08(木) エスキスチェック3 デザインスタジオ 総合計画、詳細計画、構造・設備計画
12/13(火)
12/15(木) エスキスチェック4 デザインスタジオ 提出イメージの調整
12/20(火)
印刷：12/20夜～22早朝(予定)
12/22(木) 【提出】(12:10～12:40) 【講評会】(13:00～)0212教室
※中間発表・講評会は延長授業となる場合がある。

5. 評価基準

課題に対する、理解度、計画力、技術力、表現力、独創性を基本とし、それにプレゼンテーション能力を加味する。

6. ティーチング・アシスタント(TA)

杉本隆典 田中雄基 深澤睦美 尚偉

その他

博物館 政府統計の総合窓口
基盤地図情報 国土地理院
表示の一般原則―線の基本原則(JIS Z 8312) 図形の表し方の原則(JIS Z 8316)

